■持参薬評価テンプレート（東京大学医学部附属病院作成）

|  |  |
| --- | --- |
| 持参薬 |  |
| 一般用医薬品・サプリ |  |
| 副作用歴 |  |
| アレルギー歴 |  |
| 食品との相互作用 |  |
| お薬手帳の活用 | ○あり（持参）　○あり（未持参）　○なし |
| かかりつけ薬局 |  |
| 薬剤管理方法 | ○自己管理　○自己管理＋家族の支援　○家族管理　○その他 |
| 特記事項 |  |
| 薬剤総合評価 | 入院時に6種類以上の内服薬を服用しており、かつ下記の1つ以上の項目に該当する場合は、医師とともに多剤併用に関する薬剤調整の必要性について協議する。  **薬剤調整に関する検討の必要性　○あり　○なし** |
| 入院時の内服薬剤数 □ 　種類  （頓用薬や服用4週間未満の内服薬を除き、同一銘柄は1種類と計算）  ○患者や家族から服薬困難の訴えや薬剤調整の希望あり  ○65歳以上で、高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015「特に慎重な投与を 要する薬物のリスト」に該当する薬剤あり  ○服薬管理能力の低下あり（認知力低下や視力障害、難聴、手指の機能障害など）  ○同効薬の重複投与の観点から、多剤併用に関して検討対象となる薬剤あり  ○効果や副作用の観点から、多剤併用に関して検討対象となる薬剤あり  ○薬物相互作用の観点から、多剤併用に関して検討対象となる薬剤あり  ○患者の疾患や肝・腎機能などの観点から、多剤併用に関して検討対象となる 薬剤あり |
| 上記該当項目に関する詳細 |